


ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報						
組織名・所属		一般社団法人九州のムラ				
役職		代表理事				
氏名		養父 信夫	ふりがな	ようふ のぶお	生年	1962年
連絡先	住所	〒 811-3505 福岡県宗像市田島755-4				
	電話		携帯電話	090-4344-6432	メールアドレス	yofu@9mura.net
2. 経歴・取組内容、取組分野等						
主な 経歴・ 受賞 歴	<p><経歴> 1986年 九州大学法学部卒業 同年 株式会社リクルート入社。人事部、情報通信部、アステル九州立ち上げなど 1997年 リクルート退社 同年 6月 九州観光研究所 設立 雑誌「九州のムラ」創刊。 2000年 株式会社マインドシェア九州に名称変更 2004年 株式会社マインドシェアに統合 九州のムラ市場 企画、Gazoo mura企画 など 2014年 一般社団法人九州のムラ 設立 現在に至る 2019年 一般社団法人ムらたび九州 設立 (理事・副会長)</p> <p>総務省地域力創造マネージャー(2007年～) 内閣府 地域再生マネージャー(2009年～) 農林水産省 六次産業化ボランティアリストアップ(2009年～)</p> <p>宗像国際環境会議実行委員会 事務局長(2016年～)</p> <p>受賞歴 2007年 グリーンツーリズム大賞特別賞受賞</p>					
	<p>主な取組内容、実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島県府中市「ふるさと財団」地域再生マネージャー事業にて、観光地域づくり支援(令和3年度～) ・愛媛県内子町 「ふるさと財団」地域再生マネージャー事業にて、観光地域づくり造成を実施。(2018年～令和2年度) ・和歌山県由良町 ふるさと財団 短期診断・地域再生マネージャー事業・総務省外部人材活用事業にて観光DMO支援 ・農林水産省 農泊推進事業にて長崎県長崎市茂木町、福岡県八女市旧立花町、熊本県人吉・球磨地域を支援。 ・観光庁 令和2年度時間市場(ナイトタイム)創出モデル事業 コンサルティング～宗像世界遺産を体感するスピリチュアルツアー～ ・長崎県東彼杵町 グリーンツーリズム立ち上げ支援、インバウンド商品づくり(2015年～2017年) ・ 同町 交流センター 立ち上げ支援(2018年) ・広島県府中市上下町 観光・地域づくり支援(組織づくり、インバウンド対応)(2015年～2017年) ・宗像市 地域おこし隊導入支援事業(2017年) ・観光庁 地域資源を活用した観光地魅力創造事業(宗像市、薩摩川内市)(2017年) ・環境省 地域循環共生圏創造事業(繋がろう、支えよう森川里海)(2016～2019年) ・佐賀県 基山町 「観光担い手」育成、DMO立ち上げ事業(2016、2017年) ・和歌山県由良町 地域再生マネージャー事業(2017年) ・熊本県人吉市 日本遺産セントランスセンターマネジメント構築及びプログラム開発事業(2017年) ・宗像国際環境会議実行委員会 事務局長業務(2015年～) ・熊本県山江村 移住定住支援事業、地域おこし協力隊導入支援(2016年) ・神宿る島 宗像沖ノ島と関連遺産群 PRパンフレット3部作 企画製作 (2016、2017年) ・Nippon ノMURA 発刊(2015、2017年) など 					
取組 分野	◎	1	観光振興		7	住民参加・協働
		2	産業振興	○	8	イベント交流
	◎	3	過疎地域・限界集落の振興		9	食品流通
		4	中心市街地活性化	○	10	環境
		5	まちづくり景観		11	NPO・ボランティア
		6	農林水産品の開発・ブランド化	◎	12	その他(グリーンツーリズム全般)
3. 関連ホームページ						
名称		アドレス				
一般社団法人九州のムラ		http://www.9mura.net				
宗像鯨の会		https://munakata-ama.info/				
宗像国際環境会議		https://www.munakata-eco.jp/				

4. ふるさと財団での実績	
外 活 部 用 専 門 成 家	◆2019～20年度 愛媛県内子町「極上の田舎力で魅せる！目的型ツーリズム事業」 ◆2017年度 和歌山県由良町 「想いがつながる観光地域づくり推進事業～優良・結良 由っくり、良いまちへ～」
外 部 短 期 専 門 診 断 家 派 遣	◆2019年度 大分県宇佐市 ◆2018年度 愛媛県内子町 ◆2016年度 和歌山県由良町 ◆2012年度 大分県佐伯市
地 域 セ ミ ナ ー 生 活	
そ の ほ か	

5. 財団報告書	
名称	アドレス
令和2年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/R2houkokusyo.pdf
令和元年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/R1chiikisaiseihoukoku.pdf
平成30年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2019/06/H30chiikisaiseihoukoku.pdf
平成29年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/H29chiikisaiseihoukoku.pdf
平成28年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/06/H28_chiikisaisei_houkokusyo.pdf
平成24年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/1-H24-shinchiiki-houkokusyo.pdf

6. 写真・ひとことPR	
	<p><ひとことPR></p> <p>地域創生、地域活性のポイントは、第一に 人づくり、次に 具体的な施策、最後に出口づくりです。人づくりは、地元の “バカもの、若者、ヨソもの、から。自分たちは彼らの背中を押し、火をつけることくらいです。具体的な施策は、小さな成功体験を積み上げること。まずは地域の資源を再度磨き上げ、地域の遺伝子をふまえた、地域のこれからの取組みを徹底的に議論し、その上で、交流にしろ、食にしろ、フィールドを見て、具体的に組み立てていきます。トライ＆エラーを繰り返し、組み上げていきます。最後は我々のネットワークも繋げ、観光、食の商品にお金を落としていただく都市部、海外の組織、個人につなげて、出口を構築していきます。九州のムラで培った約25年の経験、ネットワークを活かしてみませんか。ここ10年は、地元福岡県の宗像で、自ら地元組織も立ち上げ、観光環境地位づくりを実践しています。これからは持続可能な観光が世界スタンダードに。つまりインバウンドを視野に入れた場合には、この持続可能 というキーワードが必須となります。まずは短期診断からでも結構ですので、ふるさと財団さんと一緒に皆さんの地域にお伺いさせていただきます。</p>